

押小だより



令和4年2月21日
さくら市立押上小学校
令和3年度 第19号

押上小の新しい“顔”が誕生「校章・校名入り門柱」完成

本校の「校章」と「校名」が入った立派な門柱が、新たに建てられました。学校の「顔」にもなるこの門柱は、押上小の新たなシンボルの一つとして大事にしていきたいと思えます。

昨年6月19日(土)、業者による引越し作業を皮切りにスタートした「大規模改造工事」も、ほぼ計画どおりに進行し、消防団敷地内及び本校北側駐車場に建てた工事関係者用仮設事務所も撤去となりました。残すは追加工事となった正門付近のインターロッキングブロックの整備、さらには北側校庭入り口を元の状態に戻す復旧工事を行う予定であります。

今年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の対策も強いられる中、給水・排水ができない断水期間もあり、家庭から水筒を持参することになったり、ウォーターサーバーや仮設トイレを設置したりしました。仮設の水道やトイレは学年で使用時間をずらしたり、使用場所を指定したりして混雑しないように工夫して生活してきました。こうして、これまで大きな混乱なく無事に過ごせたのも、ご家庭や地域、工事関係者、市教委など多くの皆様のご理解とご協力があったからこそであると強く感じております。本当にありがとうございます。

引き続き、本校児童のためにご支援、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。



2/10(木) 4年 総合的な学習の時間 「認知症サポーター養成講座」

4年生が、2月10日(木)の3・4時間目に、総合的な学習の時間「わたしたちの福祉」の授業を行いました。この時間は、『包括支援センターエリム』保健師の村上杏実様、社会福祉士の永島健吾様、そして『さくら市役所高齢課』の伊藤はずき様を講師としてお招きし、子どもたちに対して「認知症サポーター養成講座」の授業を行っていただきました。

内容は、主に次の4つでした。

- ①認知症を学ばなければならない現状について
- ②脳の働きと認知症の種類及び症状について
- ③認知症の方やその家族へのかかわり方について
- ④認知症発症を減らす生活習慣について

パワーポイントによる資料やDVD視聴、寸劇など、わかりやすく工夫しながら教えていただきました。ありがとうございました。



2/18(金) 5年 家庭科「ミシンにトライ！」

5年生が、2月18日(金)の2・3時間目に、家庭科「ミシンにトライ! 手作り楽しい生活」の授業を行いました。この



の時間は、ミシンボランティアの協力を得て、子どもたちがミシン縫いによる「マイエプロン」製作に挑戦。ランチルームの広いスペースを活用し、できるだけ間隔をとった上で、換気や手指の消毒、マスクやフェイスシールドの着用などの対策をしながら行いました。おかげさまで安全に気を付けながらミシンの使い方を練習することができました。ボランティアのみなさま、本当にありがとうございます

感染症を踏まえた今後の行事等の計画について

2月21日(月)の週の行事等について、現在の感染状況を踏まえ次のとおりいたしました。

[チャレンジ集会]は、21日(月)~24日(木)の期間で学年ごとに分散開催で実施します。

[6年生を送る会]は、25日(金)にオンラインで実施します。

3月以降の行事等についても、今後の状況によっては変更となる場合があります。ご家庭や地域におきましても、引き続き感染症対策にご理解とご協力をお願いいたします。